

經濟論叢

第164卷 第5号

瀬地山 敏教授記念號

献 辞	西 村 周 三
ミクロ・マクロ・ループについて	塩 沢 由 典 1
進化経済学と複雑系	有 賀 裕 二 74
戦 略 の 進 化	高 増 明 100
不確実性下の意思決定理論	竹 治 康 公 121
非平衡非線形経済システム試論	吉 田 和 男 145
H. J. ダヴェンポートの貨幣的マクロ経済理論	小 島 専 孝 162

瀬地山 敏 教授 略歴・著作目録

平成11年11月

京 都 大 学 経 済 学 會

献 辞

瀬地山 敏先生は、1999年4月12日に満63歳の誕生日を迎えられ、明年3月31日をもって本学を退官されることになりました。

先生は、1960年に京都大学経済学部を卒業され、京都大学大学院経済学研究科に進学、大学院での学業を終えられた後、甲南大学経済学部講師、同助教授を経て、1969年本学部助教授に迎えられ、1985年から経済原論講座担当の教授として研究・教育に尽力してこられました。

先生は、ケインズ経済学の研究によって研究を始められ、期待、時間の重要性に早くから注目し、また使用者費用概念の意義を再評価した研究を残されました。また、ポスト・ケインジアン経済学の研究も平行して進められ、スラッファ理論、企業成長の理論を経て、技術、知識、制度の問題に注目し、技術移転と経済発展に関する研究を行いました。

近年、先生は進化経済学を唱え、学会設立を構想し、1997年3月に設立された進化経済学会の初代会長に就任されました。また *Journal of Evolutionary Economics* の編集者として国際的にも活躍されております。

先生は、1991年4月から2年間京都大学の経済学部長・経済学研究科長として重責を担われ、大学院重点化に向けて多大の努力を傾注されました。そして1994年5月から1995年12月まで京都大学学生部長、1996年4月から1997年12月まで京都大学総長特別補佐として本学の発展のために多大な貢献をされました。

京都大学経済学会は、先生の多年にわたるご功勞に感謝と敬意の気持ちを込めて、本記念号を編集いたしました。先生の同学の方とご指導を受けられた方々の論文を編んで先生にお贈りできますことは、私どもの何よりの慶びであります。

先生が本学を去られた後も、ますますご健康で、学会のため、ご研究の発展にご活躍なさいますことを心からお祈りいたします。

1999年11月1日

京都大学大学院経済学研究科長・経済学部長 西 村 周 三